



学校新聞 竜谷通信



令和8年 10月
第6号

げんきな子
がんばる子
すなおな子
くふうする子



テーマその①「全校をちょっと動かす一言って?」「私なら、こう話します」

Good & New

校長 手島 露子

先日、学校のリーダーである六年生の子どもたちとランチミーティングを行いました。テーマの一つは「全校をちょっと動かす一言って?」です。その一言を考えるために、まずは学校の中にある「よいこと＝Good」や「新しい発見＝New」を探してみようと提案しました。

実は、毎月のように行っているお誕生日給食でも、同じテーマで交流をしています。子どもたちに「最近楽しかったこと、うれしかったこと」「最近気が付いたこと、発見したこと」を話してもらうのですが、毎回すぐに話題が出てくるわけではありません。

「特に思いつきません。」時には、そんな言葉を聞くこともあります。考えてみれば、それも無理のないことかもしれません。毎日当たり前のように通う学校で、心が大きく動く出来事ばかりが起るわけではないでしょう。今回、六年生と話し合う中でも、「それが難しいんだよね…」と、首をひねる姿もありました。でも私は、その素直な反応をととても大切に感じました。なぜなら「難しい」と言いながらも、「最近、何かあったかな。」「こんなことでもいいのかな。」と、普段の生活を振り返りながら、一生懸命にGood & Newを探そうとする姿があったからです。

私は、Good & Newの本当の価値は、見つけた内容の大きさよりも、それを探そうとする姿勢そのものにあると思っています。よさや新しい視点を探そうとする人は、きつと人の失敗よりも、成長に目を向けることができます。当たり前と思っていた出来事の中にも、小さな変化や、思わず笑ってしまふ出来事、ちょっとした発見を見つけることができます。

とは言え、これは子どもたちだけの話ではありません。正直に言ってしまうと、「特にないです」という言葉に、私はかなり共感しています。私自身、Good & Newを探そうとしても、なかなか見つけれないことがあります。「大人なの?」と思われるかもしれませんが、残念ながら私も同じなんです。だからこそ、「本当にないかな」と少し立ち止まって考えたり、「いつもと少し違うことはなかったかな」と周りを見渡したりすることを大切にしようと思えました。「全校をちょっと動かす一言」は、きつとそんな日々の気付きの中から生まれるのだと思います。

実は私・・・○○です

実は私、クロダイ専門の釣りキチです。

ある夏の釣行スケジュールを紹介します。

*** 朝2時30分起床 * 3時00分自宅出発**

*** 4時10分釣り場到着・準備 * 5時00分釣り開始**

*** 18時00分釣り終了・片付け * 20時00分帰宅・片付け**

真夏の酷暑日の中で13時間の釣り。どうでしょうか？私、釣りキチですよ。夏から秋にかけてはよく釣れる時期は夢中になってやっているの、時間はあっという間に過ぎます。でも、時期によってはまったく釣れない日もあります。それでも暑さ、寒さに耐えながら10時間以上釣っています。どうでしょうか？私、釣りキチですよ。

食べ方のおすすめは、燻製です。①内臓を取る ②塩水に浸す ③干す ④コンロで燻製器を使って燻す。 【教頭 鈴木 善博】



クロダイ、大漁！！

実は私、暇さえあれば走っています。

中学生の頃、駅伝部に入っていました。

そこで走ることに魅力に惹かれ、教師になった

今でも、走り続けています。今では社会人チー

ムにも所属し、競技場でのレースや駅伝などのロードレースにも出場しています。もちろん、岡崎市の冬の名物でもある「岡崎市民駅伝」にも一般男子の部で出場を続けています。今年も出場を予定しています。チームの仲間とは、参加できる人たちでゆるく集まり、ガチで練習しています。そんなコンセプトのチーム「岡崎ゆる練」の応援を、よろしくをお願いします。三連覇を目指して今年も岡崎の町を駆け抜けます。竜谷はとっても走りやすいです。最後まで読んでくださったみなさんも、ぜひ走ってみてください。

【6年担任 島田 拓弥】



2025 年岡崎市民駅伝より

まなびの窓



いつの間にか、学校の中には秋がいっぱい

トヨタの森 インタープリターの方を講師としてお招きし、1・2年生を対象に秋見つけの授業を行いました。子どもたちは、木の実や葉の形、色の変化に注目しながら、身近な自然の中にある秋を発見していました。インタープリターの方の問いかけに耳を傾けながら観察を進め、「こんなところにも秋があった！」と驚きの声を上げる姿が見られました。自然の魅力や季節の移り変わりを感じる貴重な学びの時間となりました。



「授業に関する10の質問」に答える6年生

ランチミーティングテーマその②は、「授業を大切にし、力をつけるために」でした。さすが6年生。自分が授業で大切にしていることや身に付けた力などを実感し、言語化できている子が何人もいました。6年生の授業が竜谷小の最上位モデルだということへの自覚ももってくれていると思います。6年生の学びを全校に広げる企画も考えています。お楽しみに。

どうしたら大きくなりますか？

毎年行うサツマイモのツル挿しと、芋ほり。中には立派なお芋もありますが、全体的に小さいのが悩みです。

土、水やり、日当たり、つる返しなどにも理由があるのでしょうか。子供たちが歓声を上げるような大きなお芋を収穫したいのですが、なかなか思うようにはいきません。畑づくりのコツや栽培のお知恵などがあれば、ぜひ教えていただきたいです……。



「えっ！ほそーい！」の声・・・